

## 第4回 岐阜市新型コロナウイルス感染症 経済対策 意見交換会 議事録

■日 時：令和3年11月22日（月）14：00～16：00

■場 所：岐阜市役所6階 6-1大会議室

■出席者：別紙のとおり

■傍聴者：岐阜新聞

### 1 岐阜市長あいさつ

#### 【柴橋市長】

- ・ 本市は連日陽性者ゼロであり、全体の8割の方が2回目のワクチン接種を終えていることから、**ポストコロナに向けて、社会経済活動をどんどん動かしていかなければならない時期**となっている。
- ・ 地域経済は、どこかの誰かが何かやってくれるわけではないので、**私たち一人一人が、この問題にしっかりと向き合い、お互いに知恵を出しながら、頑張っていき、乗り越えていきたい。**
- ・ 皆様から率直な意見をいただき、本市の経済対策等を検討していきたい。

### 2 出席者ご紹介

（資料の出席者一覧の配付にて紹介に代える。）

### 3 新型コロナウイルス感染症に関する岐阜市の経済対策について

資料3 「新型コロナウイルス感染症の感染者の発生状況及びワクチン接種状況について、

（中村保健衛生部長から説明）

資料5 「岐阜市新型コロナウイルス感染症に関する経済対策」について

（牧ヶ野ぎふ魅力づくり推進部長から、令和3年度中の経済対策の取組及び今後実施予定の取組について説明）

資料4 「新型コロナウイルス感染症の感染者数と主な経済支援事業」、

資料5 「新型コロナウイルス感染症に関する経済対策について」、

資料6 「新型コロナウイルス感染症に伴う影響調査」について

（大久保経済部長から、第3回意見交換会を踏まえた施策、影響調査の結果概要について説明）

## 4 意見交換

各団体の現状や今後の見通しなどについて、資料1の出席者一覧の順にご意見を頂戴した。

### 【岐阜商工会議所 小澤副会頭】

- ・ 非製造業では、経済活動が抑制される中、**観光、飲料、飲食、交通、イベント**に関する業者を中心に、極めて厳しい状況が続いている。
- ・ 製造業では、昨年7月から9月の低迷期から、大きく改善しつつも、需要の停滞が続き、原材料価格の上昇による資金繰りに、困窮する事業者が見られる。
- ・ ポストコロナを見据え、国や岐阜県の補助金を活用し、事業再構築やネット販売の強化、商品開発の強化に取り組む事業者や、サプライチェーンの国内回帰を行った事業者なども見られる。
- ・ コロナ禍において、人と接する営業活動が制限される中、オンラインによるコミュニケーションツールを活用し、事業活動を継続する企業が急増した一方、業種によっては、人的、資金的要因により、デジタル化が遅れている企業もあり、**デジタル格差が広がっている**。
- ・ 先行きが不透明な状況下で、自己努力だけでは限界を感じており、**さらなる金融支援、資金繰り支援の拡充を求めたい**。
- ・ ビジネスモデルの転換やイノベーションの創出、生産性向上、DX推進等の**中小企業の果敢なるチャレンジを強力に後押ししてもらいたい**。

### 【柳津町商工会 竹中会長】

- ・ 無利息といって借り入れの返済があることや、後継ぎ問題など、いろいろなことが重なって、2、3年後の状態を懸念している。
- ・ 指導員の人数不足により、指導が行き届かないことから、将来2年後3年後で見て、その小さな商店の人の廃業や、後継ぎ問題を克服できるように「**金銭的支援**」よりも「**知的支援**」をお願いしたい。

### 【公益社団法人岐阜青年会議所 黒宮副理事長】

- ・ 事業再構築補助金等を活用して、新たな取り組みにトライしている仲間がいるので、そういった奮闘している各事業者への**チャレンジの支援を引き続きお願いしたい**。

### 【岐阜市商店街振興組合連合会 北川理事長】

- ・ 一時に比べて、人の流れが増えてきたが、学生とか通勤の人が多く、購買に繋がるだろう主婦の方などは非常に少ないと感じている。
- ・ 駅前前の玉宮の飲み屋街についても、高齢者は少なく、若い方が中心に戻ってきている。
- ・ 商店街の方の活動はここ20年30年ぐらい前から沈滞ぎみになってきて、ものを売るお店が100件足らずと少なくなっており、地場の店舗が後継者問題等で**チャレンジ意欲が欠けている**。一方で神

田町通りは空き店舗はなく、新店舗は非常に活気があるなど、店舗によって大きく状況が異なる。

- ・ 補助金等に関して、イベント等で非常に活用しにくいいため、**資金の流用的なものがある程度認めるよう、検討してほしい。**
- ・ ほこみち（歩行者利便増進道路）について、元々の歩道の幅があまりなく、有効的に活用することは難しいので、うまく活用する方法を検討してもらいたい。

#### 【岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会 林理事長】

- ・ ポストコロナを見据え、**グランドビジョン**を策定することを課題としている。
- ・ 人口減少時代の中心商店街、やはりまちづくりの考え方として、岐阜市が住みやすい中心市街地になって、**その住みやすいまちに最適化した商店街**となるだろうと考えており、その考え方が商店街の生き残りに繋がっていくのだろうと思う。
- ・ グランドビジョンの実現に向けては、経産省系の考え方と国交省系の考え方に横串を通して、自由に動き回れるような**タウンマネージャー及び実行部隊**が必要である。
- ・ **次の世代の若手育成**ということを次のテーマとして、ポストコロナ時代の商店街をどうやって生き抜いていくか、岐阜市と一緒に考えていきたい。

#### 【一般社団法人岐阜ファッション産業連合会 武藤副理事長】

- ・ 各地に営業に行き、各生地屋の展示会や素材の展示会等により販路を広げていこうという活動が徐々に戻りつつある。リモートだけでは素材感やこだわりを伝えきれない部分があるので、出張が出来ることはいい反面、社外に対しては出張のイメージが悪く、言えない状況が続いている。
- ・ 岐阜市が新型コロナウイルス感染症の陽性者がゼロ更新をしているなど、非常に良い状況にあることをPRするなど、コロナに対するブレーキだけではなく、**アクセルの部分もしっかり伝えていただきたい。**
- ・ 当連合会の形態は、駅前の間屋街地区とそれ以外で6：4の割合で、コロナ禍で間屋町から一旦引く形が出てきている。**間屋街地区でファッションについてしっかりと議論しながら立て直しを進めていきたい**と考えているのでご協力をお願いしたい。

#### 【岐阜婦人子供服工業組合 糸尾副理事長】

- ・ 一番の問題は、繊維業界、アパレル業界が、コロナが後押しした時代の変化（**消費者の価値観や、衣料費に対する金銭感覚の変化**）についていけないことである。
- ・ アパレルが弱体化すると、縫製業界も弱体化していくため、たとえ消費喚起をして消費が戻ってきても、消費行動が変化してきているので、**ものづくりや販売方法の根本から見直していかなければいけない状況**になってきている。
- ・ **将来に対する情報等**、あらゆる情報をセミナー形式でも講演会形式でも何でもいいので我々にも

共有していただきたい。

- ・ 今回の岐阜市広告宣伝事業のように、岐阜市として**クイックな支援**をしていただきたい。
- ・ 岐阜の縫製業界、アパレルの生産力、技術力を守り、新しい雇用を生み出すために、**官民一体**となって、例えば、地産地消のための縫製工場等、**新しいものを生み出して**いきたい。

#### 【協同組合岐阜市土産品協会 藤吉代表理事】

- ・ やっぱ岐阜やて！“対象店舗で最大20%” たんと戻るよキャンペーンを行ってもらえて、消費喚起が出来ており、非常にありがたいが、昨年度実績から20%増えるほど、売り上げが伸びているわけではない。
- ・ コロナが収まっている昨今、岐阜公園周辺では多くの観光客が訪れているが、11月23日までの菊花展以降は大きなイベントが行われず、総合案内所も12月は閉店すると聞いており、非常にショックである。個々の努力では限界があるので、**今後のイベントについて考えてもらいたい**。
- ・ **コロナ禍で土産品のあり方が変化**しており、その場で消費する商品が多くなっていると感じる。ただ、全てを転換してしまうと、**岐阜にお土産がなくなることで観光が下火になる可能性もある**ので、**ぎふ魅力づくり推進部と経済部と協力**し、今後について考えていきたい。

#### 【岐阜長良川温泉旅館協同組合 葛西理事】

- ・ 週末を中心に宿泊の増加が見られるようになったが、少し長い目で見ると**インバウンドが戻るのは2024年**と言われているので、**細く長い支援**を検討いただきたい。
- ・ ただ、変わらない課題として**大規模宴会**が行われておらず、**需要がほぼ蒸発**してしまっている。
- ・ 年末に旅館組合の3施設の会場を結ぶ形でリモートの宴会が開催されると聞いており、新しい形に取り組むなど、個々の旅館等で取り組みを行っている。
- ・ 県の実証実験で、ワクチン・検査パッケージ実証実験として、大型宴会の検証が行われており、そのように**行政主導**で行ってもらえれば、**安心して大型宴会が開催されるようになるのではないかと**考えている。

#### 【一般社団法人岐阜ホテル会 新野副会長】

- ・ 駅前のホテル会会員施設の平均稼働率は、2020年度に比べ、2021年度の方が若干上がっているが、客単価が大幅に減少していることから、**依然として厳しい状況が続いている**。
- ・ 予約状況は、特に来年2月までは厳しい状況であり、3月以降は団体予約が入っているが、第6波の状況によっては不透明であり、**宿泊の助成金等の継続**を行っていただきたい。
- ・ 玉宮の居酒屋の営業前の時間を会議室として利用できないかと実証実験をしており、**来春**には少人数から百名ほどの**MICE（コンベンションや学会等）利用者**を誘致予定であるので、そのような取り組みを支援してもらいたい。

- ・ 駅前ホテルは、玉宮の賑わいと連動するので、**イベント等の助成金も検討いただきたい。**

#### 【一般社団法人岐阜土木工業会 長尾理事】

- ・ 岐阜市の公共土木工事は、平年並みで、横ばいの状況の中、雇用は人材不足で、各社とも雇用に対して前向きな状況という言動が多い。
- ・ DXの取り組みについては、大規模な工事では、現在測量から計画、実施工等で進んでいるが、**小規模工事では、DXの人材を含めて、これからというような状況**である。
- ・ 気象災害の激甚化や高度成長時代に集中的に整備されましたインフラの補修等の対応には、**デジタル化が不可欠なもの**と感じている。
- ・ 公共工事の平準化と**DXに対する指導や協力**をお願いしたい。

#### 【岐阜市建築技術協会 桑原会長】

- ・ 我々の建築現場は屋外で、ほとんど風通しの良い場所で仕事をやっているので、コロナ対策という面では、比較的良好である。
- ・ 木材とか鉄関係の資材不足や機材不足に加え、資材等の高騰が重なり、施工実績が伸びず、閉塞感があることが懸念点としてある。
- ・ 地域経済が一刻も早く回復し、我々にも仕事がさせていただけられるようになることを願っている。
- ・ 引き続き、**補助金や融資の援助等**を行っていただき、あわせて、**公共工事を積極的に発注**していただきたい。

#### 【一般社団法人岐阜銀行協会 脇田専務理事】

##### 資金繰りの面

- ・ 実質無利子融資、いわゆるゼロゼロ融資の取り扱いが民間金融機関では5月末まで実行となり、6月以降は**伴走支援型特別保証付融資がかなり増加**している。最長5年間の返済据え置きが出来るというニーズを取り込んでいる。
- ・ 令和3年4月から10月の不渡り件数は8件で取引停止処分は2件で、前年度同期と比べて横ばいぐらいだが、前々年度は不渡り25件、取引停止15件だったので、**不渡りと取引停止が大幅に減っている**。全国銀行協会の集計でも、全国的にかなり減っており、10月現在で3ヶ月連続前年同月を下回っている。
- ・ **政府や自治体のコロナ対策給付金や金融機関からのコロナ関連融資の効果があった**と思われる。

##### 本業支援の面

- ・ 業種別では、**飲食、宿泊はじめ対面サービス業**が厳しい状況が続いている。
- ・ アフターコロナを見据えた事業転換やECサイトの導入、ネットによる商談会やビジネスマッチング、販路拡大、経営課題の相談を受けて解決を図る中で、**事業再構築補助金の活用を中心に提案**している。最近では、一部に**脱炭素経営に関する相談**も寄せられている。

- ・ **デジタル化、DX**については、総務系では、**ペーパーレス化やテレワーク対応**、それから生産現場では**マニュアル化や見える化**などに繋がる相談が寄せられている。

#### 金融支援の面

- ・ **返済猶予や返済条件の変更、事業展開や新事業展開に向けての成長支援あるいは資本性のローンの調達等の支援**が必要になると考える。
- ・ 経済活動が戻りつつある中で、**地場産業や雇用を守る**ためにも、岐阜市や商工会議所と連携し、お客さんに寄り添いたい。

#### **【公益社団法人岐阜県バス協会 瀧会長】**

- ・ 乗合事業については、今年度上期は、第5波の影響を大きく受け、コロナ前の7割程度で推移している。定期外の手控えが大きく影響している。これから8割程度に回復することを期待している。
- ・ 貸切事業については、**乗合以上にコロナの影響を大きく受けており**、3割を切っている状況である。下期についても戻してはいるものの、**コロナ前の状況からは程遠い**。
- ・ 県民割等の**観光施策**により、**明らかに需要喚起ができており**、このまま感染状況が収まったまま、隣県への観光キャンペーンやG o T oキャンペーン等に繋がってほしい。
- ・ ツアーで訪れた施設で、「感染対策ができていない」とのクレームがあり、**観光業界全体で感染症対策の徹底**をしていかなければならないと感じている。
- ・ ワクチン・検査パッケージ制度等、**ツアー等が地道に実現できるような対策や支援**をしていただきたい。

#### **【岐阜県タクシー協会岐阜支部 山田支部長】**

- ・ タクシー業界は、第5波の8、9月には稼働率が50%をいくかいかないかの状況となり、非常に低迷したが、10月は業界全体で70%前半となるなど、**大分戻ってきている**。
- ・ ただし、22時を超えるような夜遅い時間帯は、依然として低い状況である。
- ・ **やっぱ岐阜やて！“対象店舗で最大20%”たんと戻るよキャンペーン**を行ってもらえて、需要喚起できており、本当にありがたい。
- ・ 懸念事項は、**従業員及びタクシーの台数**である。従業員は特に高齢者の離職が多く、**従業員の確保**が必須の課題となる。
- ・ タクシー業界は、**人が移動するお手伝いをする業種**なので、人の移動が必須となることから、是非**イベントの誘致**をお願いしたい。

## ◆担当部長コメント

### 【中村 保健衛生部長】

- ・ 日本はヨーロッパに比べ、**ワクチンの接種割合が高く**、同じ状況となるかはわからない。
- ・ ワクチン接種後、一定期間が過ぎると、免疫の力が若干落ち、ブレイクスルー感染の可能性が出てくるので、**追加接種を進めていく**。
- ・ ワクチン未接種者に比べると**ワクチン接種者は重症化することが格段に少ない**状況なので、ワクチンを受けられることは無駄ではない。
- ・ 感染対策はワクチン接種と合わせて非常に大切で、マスク、消毒換気、体調の悪い方が施設をご利用されないなどの**基本的な感染対策が大事**である。

### 【牧ヶ野 ぎふ魅力づくり推進部長】

- ・ G o T o トラベルの再開や、或いは県民割が隣県への拡大というような方向に注視しながら、本市として取るべき観光施策を考えていきたい。
- ・ 観光コンベンション協会とともに、**M I C E 関係の誘致**を図っていきたい。
- ・ 岐阜公園で1月にあかりのイベントを開催するとともに、今後に向けて鶴飼観覧船を高級化していくので、**民間の方々と協力**していきたい。

### 【大久保 経済部長】

- ・ ワクチンの接種率の向上等の状況の中で、平常時までは行かないにしても、それに近いような、時代がくるといった点も意識しながら、**ポストコロナの施策を意識した展開を考えていかなければならない**。
- ・ ポストコロナという新たな局面での経済対策の展開を何とか**岐阜市総動員で見つけて**いきたい。

## ◆市長から感想やお礼

### 【柴橋市長】

- ・ 本意見交換会でのポイントは以下の3つに集約される。

#### ①DX

国はデジタル庁、自治体は自治体DX、事業者では事業規模によって進捗状況が様々であり、対策が必要となっている。

#### ②ポストコロナを見据えた準備

ポストコロナに向けたビジョンの策定や商品開発等、次の時代をしっかりと見据えた準備を行っていただいている。

#### ③イベントや観光誘客

ポストコロナに向けて、インバウンド及びコンベンション等をいかに迎えていくか。

- ・ 今日いただいたポイントを中心に、しっかり協議をし、皆さんのお力もいただきながら、次の時代に向けて、一緒に頑張るって参りたい。

— 了 —